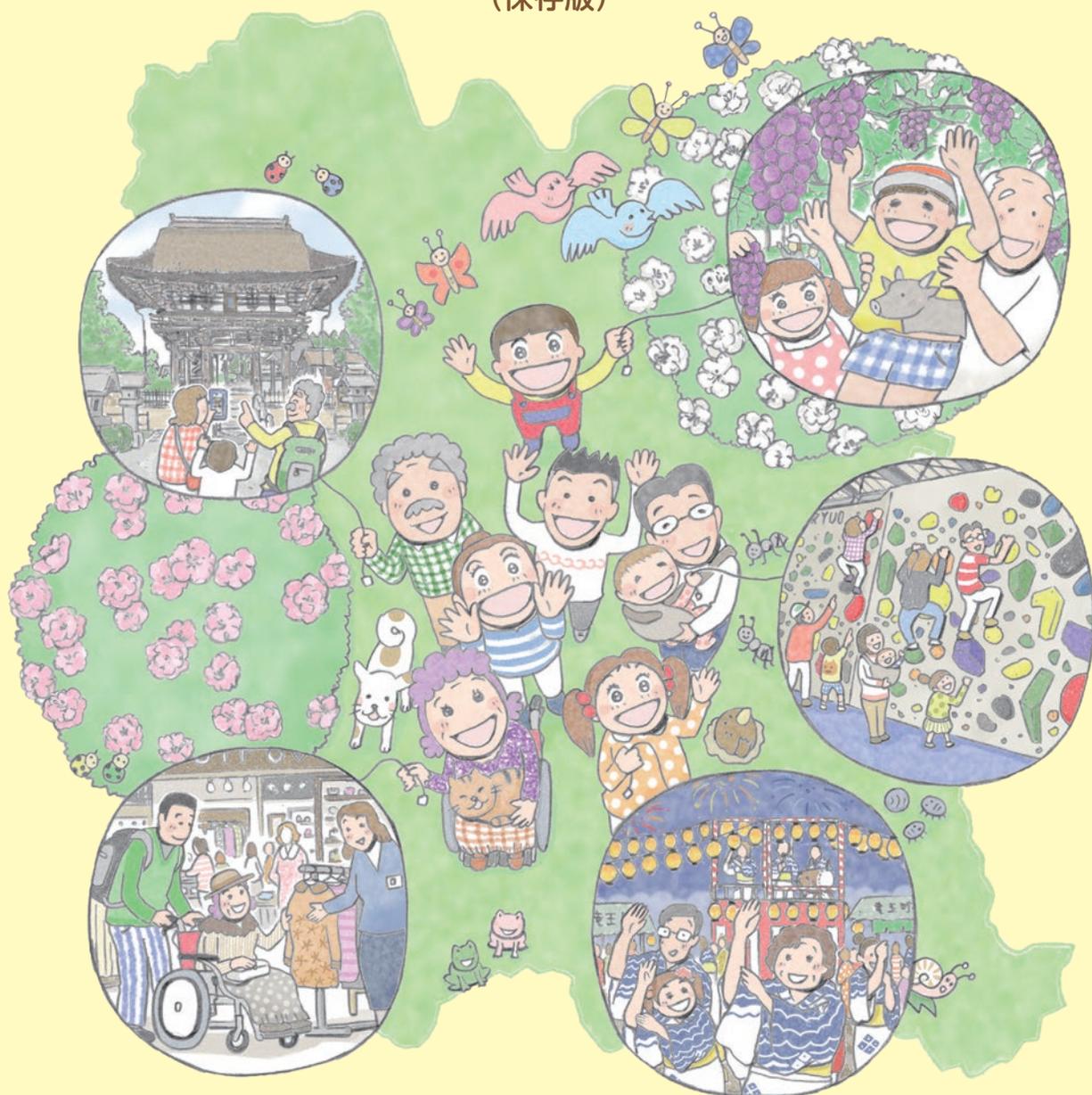


竜王町認知症 あんしんガイド 認知症ケアパス

(保存版)



認知症あんしんガイドとは

認知症の状況に応じて、いつ、どこで、
どのような医療や介護サービスなどを受けられるかを示したものです。



竜王町福祉課(竜王町地域包括支援センター)
令和5年第2版

表紙イラスト:北川なつ

はじめに

竜王町では、皆さんに、認知症の理解を深めていただくために「認知症あんしんガイド(認知症ケアパス)」を作成しました。

ご本人やそのご家族などが地域で安心して暮らしていけるよう、また「認知症になってもよろしくね!」と言える地域社会を目指して、認知症の症状に応じた対応の仕方やサービスに関することなどを掲載していますのでご活用ください。

- もし、あなたが認知症になったら…どんなことを望みますか…? (希望や役割、大切にしていることなどを下記に記入してみましょう)

ひとりで
悩まないで!



認知症とは

認知症とはどんな病気?

若年性認知症って
なんだろう?



くわしくはこちら!▲

認知症は、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態(およそ6ヶ月以上)をいいます。

アルツハイマー型認知症は、認知症の中で最も多く、脳神経が変性して脳の一部が萎縮していく過程でおきる認知症です。次いで多い脳血管性認知症は、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害によっておきる認知症です。これにより起こる記憶障害、理解・判断力の障害、感情表現の変化などの症状(中核症状)は認知症患者の多くの人に現れます。さらに、人によっては心の状態や性格、環境の変化などにより、うつ状態、ひとり歩き(徘徊)、妄想などの症状(行動・心理症状【BPSD】)が現れることもあります。また、認知症は高齢者の病気というイメージがありますが、若い世代が発症する可能性もあり、65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」と言います。年齢の若さから認知症を疑わなかったり病院で診察を受けてもうつ病や更年期障害などと間違われることもあります。



▲京都在住 若年性認知症
下坂厚氏との対談

さまざまな症状が現れる認知症

中核症状

記憶障害、見当識障害、実行機能障害、理解・判断力の障害、感情表現の変化 など

- 場所や時間が分からなくなる
- 仕事や家事の段取りが立てられなくなる
- 話や言葉を間違えて捉えてしまう

行動・心理症状(BPSD)

不安、焦り、うつ、興奮、暴言、幻覚、妄想、せん妄、異食、ひとり歩き(徘徊)、帰宅願望、睡眠障害、介護拒否 など

- 感情が不安定になる
- 意欲がなくなる
- 落ち着きがなくなる

心の状態や性格、
環境によって
影響される

認知症にはこんなタイプがあります

認知症の種類と特徴

認知症は原因となる病気によってさまざまな特徴があります。

一番多い認知症

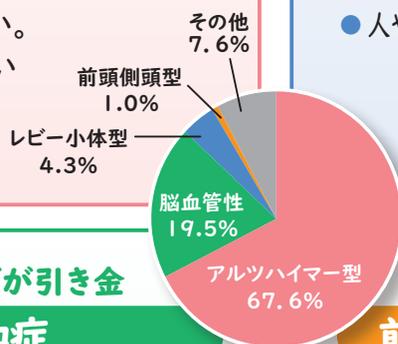
アルツハイマー型認知症



女性に多く、進行は緩やか。記憶障害が著しく、特に直近の記憶（短期記憶）が不得意になります。うつ症状が見られることもあります。

特徴的な症状の例

- 同じことを何度も言う
- 新しいことが覚えられない。
- 家事が段取りよくできない
- 道具が使えない
- 道に迷う など



幻視などが起こるのが特徴

レビー小体型認知症



初期のころは物忘れより、うつ状態、失神、震えといった症状が出たり、幻視（目の前にはないはずのものが見える）を認めたりすることがあります。

特徴的な症状の例

- 症状が良いときと悪いときの変化が大きい
- 人や動物、虫などがリアルに見えると言う（幻視、妄想）
 - 夜中に大声を出す、動き回る
 - パーキンソン症状が見られる（動作緩慢、すり足歩行など） など

脳梗塞、脳出血などが引き金

血管性認知症



男性に多く、脳の血管障害で脳細胞が死滅することで発症します。脳血管障害のリスクとなる高血圧や糖尿病などの治療・改善が予防につながります。

特徴的な症状の例

- やる気がなくなる、無表情
- 怒りっぽくなったり涙もろくなったり感情が抑えられない
- 段取りが悪くなり行動がゆっくりになる
- 手足にまひがある など

少ないがケアが大変

前頭側頭型認知症（ピック病）



物忘れの症状は軽く、意欲や理性、感情をコントロールすることが難しくなります。万引きや無銭飲食などで周囲を困惑させることも少なくありません。

特徴的な症状の例

- 怒りっぽくなる
- 相手への思いやりや配慮がなくなる
- 初期から行動を自制する力が失われ社会的対人関係が破綻する
- 同じ行動や言葉を繰り返す など

円グラフ資料：「平成25年 都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」より引用

認知症早期発見のメリット

- ① 病気によっては、治療によって治る認知症もあります。
- ② 治療等により病気の進行を遅らせることができます。
- ③ 認知症の進行状態等を知って本人に関わることができ、本人や家族にゆとりが生まれます。
- ④ 早期であれば、自分の気持ちを表現できるため、自分が望む暮らしの継続につながります。

滋賀県・(社)滋賀県医師会チラスより引用

予 防

認知症の予防に向けた取り組み

※「予防」とは「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

予防的な生活を心がけましょう

認知症になりにくい生活とは？

現時点では残念ながら、「こうすれば認知症にならない」という絶対的な方法はありません。しかし最近の研究から「どうすれば認知症になりにくいのか」ということが少しずつわかってきました。



▲保健事業のご案内

認知症予防に寄与する生活習慣

栄養 青魚、野菜や果物が有効!

食事ではエイコサペンタエン酸(EPA)やドコサヘキサエン酸(DHA)を多く含む青魚、βカロテンやビタミンC、ビタミンEなどを含む野菜や果物の摂取が、認知症発症のリスクを軽減させます。

共通点は抗酸化作用の高い食べ物。最近では赤ワインやカカオ成分の多いチョコレートなどに含まれるポリフェノールの効果も注目されています。

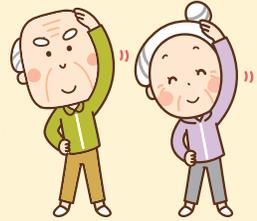
運動 運動は脳の神経を成長させる!

運動すると、脳の神経を成長させるBDNF(脳由来神経栄養因子)というたんぱく質が、記憶をつかさどる海馬で多く分泌され、海馬の維持・肥大に効果をもたらします。

さらに、脳を使いながら運動すると、脳が刺激を受け、血液量も増えて、より多くのBDNFが分泌され、神経細胞が活性化しやすくなると考えられています。

社会参加 積極的な社会参加も効果あり!

認知症の発症には、対人的な接触頻度も大きく関わっています。1人暮らしの人や友人とほとんど交流のない人は、夫婦同居や友人と週1回会っている人に比べて、認知症の発症リスクが8倍になるという調査もあります。閉じこもりがちな生活をやめて、周囲の人と声をかけあって地域活動や趣味の会に参加するなど、活動的に過ごすことが大切です。



(出典: 今日から始めよう! 認知症予防はカラダづくりから!を一部引用)

ここでは、竜王町内にある認知症予防に関連する取り組みを紹介します。

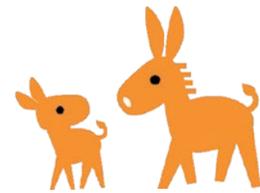
地域での取り組み
地域のサロン、コミュニティカフェ、老人会、おたっしや教室など人と人(地域)がつながる場として、地域でにぎやかに開催されています。

いつまでも元気クラブ (鶺川・弓削・鏡プラザなど) (生涯現役事業)
竜王町内の概ね60歳以上の皆さんを対象に、健康維持のため、趣味活動、ボランティア活動、仲間づくり等、元気に活動しています。

詳しくは地域包括支援センターへお問い合わせください

竜王音頭 竜王音頭 みんなで楽しく介護予防!
音頭のリズムに合わせて楽しく身体を動かしてみよう!





認知症の人を支援しましょう！

周りの人にはどのような心がけが必要でしょうか

認知症であるかどうかにかかわらず、家族、友人・知人や周囲の人同士がスムーズにコミュニケーションを図るには、ちょっとした気遣いが必要でしょう。認知症になったことで周囲からそれまでとは違った目で見られたり、できなくなったことや失敗に注目されたら、どんな気持ちができるでしょうか。

普段の心がけ

主な3つのポイント！

- 付き合いにおいては「認知症だから」の前提をとりはらう。 ▶ そこにいるのは「認知症の人」ではなく、〇〇さんが認知症になっただけのこと
- 本人が得意なこと、少しがんばればできることでは、頼りにし、力を発揮してもらう。 ▶ 「期待される」存在であることは誰でもうれしい
- 重要なことほど、本人の考え、希望についてじっくりと話しあって決める。 ▶ 親切心から行う行為でも、相手の自尊心や意思をないがしろにしては逆効果となることがある

ほかにも、いろいろなことがあるはずです。そして、自分だったら周りの人からどのように接してもらうのが望ましいか考えてみましょう。

気になる人を見かけたとき

家の近所で、職場で、町中で「あの人は困っているのかな」「もしかしたら認知症の人かもしれない」と思ったときには、どのような点に気をつけて声をかけ、接するとよいでしょうか。

7つのポイント！

認知症サポーター養成講座標準教材を一部引用

1 まずは見守る

さりげなく見守り、近づきすぎたり、ジロジロ見たりしない。

2 相手の目線に合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合、体を低くして目線を同じ高さに合わせる。

3 余裕をもって対応する

戸惑いや焦りを見せず、自然な笑顔で対応する。

4 声をかけるときは1人で

複数人で対応すると恐怖心をあおってしまう。

5 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視界に入ったところで声をかける。唐突に声かけをしない。

6 おだやかに、はっきりした話し方で

耳が聞こえにくい高齢者の方も多いのでゆっくり、はっきりを心がける。

7 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

相手をせかしたり、同時に複数の質問をせず、反応を伺いながら会話する。



※必要に応じて、本人の了承を得て家族に連絡をとる、地域包括支援センターなどに連絡するようにします。
※小中学生の人などは、まず、保護者や周囲の大人に状況を伝えて一緒に行動するとよいでしょう。

認知症サポート一覧表

※認知症サポート一覧表とは認知症の状態にあわせて、ご本人や介護者がいつ・どこで・どのようなサービスが受けられるのかを示したものです。

認知症の進行

認知症の度合い		認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
		発症前～MCI (軽度認知障害)	軽度	中等度		高度
認知症の主な症状	生活	<input type="checkbox"/> 探し物が増える <input type="checkbox"/> 同時に二つのことをしようとする 一つを忘れる	<input type="checkbox"/> 料理・片づけ・計算・運転などのミスが多くなった <input type="checkbox"/> 今までと同じことをしていても時間がかかる	<input type="checkbox"/> 着替えや入浴を嫌がる		<input type="checkbox"/> 使い慣れた道具の使い方が分からなくなる
	言葉	<input type="checkbox"/> 同じことを何度も言う	<input type="checkbox"/> 話にまとまりがなくなる <input type="checkbox"/> 言葉が出にくくなる	<input type="checkbox"/> 言葉が減ってくる		<input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しくなる
	気持ち	<input type="checkbox"/> 物忘れが増えた、考えるスピードが遅くなったと感じる	<input type="checkbox"/> 抑うつ症状やイライラ感が現れる <input type="checkbox"/> 頑固になる	<input type="checkbox"/> 自信を失いがちになる <input type="checkbox"/> すぐに興奮するようになる		
	時間場所の感覚	<input type="checkbox"/> 今日の日を忘れる	<input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある	<input type="checkbox"/> 季節にあった服が選べない <input type="checkbox"/> 知っている場所で迷子になる <input type="checkbox"/> ひとり歩き(徘徊)がみられるようになる		<input type="checkbox"/> 家族の顔や続柄が分からなくなる
	身体の変化			<input type="checkbox"/> トイレの失敗がある		<input type="checkbox"/> 日中うつらうつらする <input type="checkbox"/> 飲み込みが悪くなる <input type="checkbox"/> 寝たきりになる
家族の心構えと対応		<ul style="list-style-type: none"> ● 社会参加や楽しみを続けられるようにしましょう ● 本人が出来ることは続けてもらいましょう ● 気になることは早めにかかりつけ医や地域包括支援センター等に相談しましょう 			<ul style="list-style-type: none"> ● 状況により施設サービスも考えましょう 例) 昼夜問わず見守りが必要 暴言・暴力があり介護の負担が大きい危険な行動をする…など 	
本人の		<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症の症状や接し方について理解を深めましょう ● 今後の生活設計について本人、家族間で話し合っておきましょう※エンディング(修活)ノートを活用しましょう ● 本人ができる事を大切に役割を持つようにしましょう ● 介護者自身の健康管理にも気をつけましょう ● 症状の進行に合わせて様々なサービスを利用しましょう 			<ul style="list-style-type: none"> ● 身の回りのことなど自分のできることを続けていきましょう 	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 交流や様々な役割などを持ち活動性のある生活を送りましょう ● 生活習慣病予防など健康管理を行いましょう ● 持っている役割を工夫しながら続けていきましょう 			<p>症状が進んでもできることがたくさんあること</p> <p>自分のことは自分で決めたい</p> 	

本人の できること		<ul style="list-style-type: none"> ● 持っている役割を工夫しながら続けていきましょう ● 困ったことはかかりつけ医や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等に相談しましょう 		症状が進んでもできることがたくさんあることを知ってほしい  自分で決めたい 何もわからない人とは考えず、どうしたいか聞いてほしい		
認知症の 度合い		認知症の疑い	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に 手助け・介護が必要	常に介護が必要
		発症前～MCI (軽度認知障害)	軽度	中等度		高度
認知症の方を 支援する体制	認知症 ケア	認知症対応型通所介護：認知症の特性に特化したケア、日中活動の提供を行います 小規模多機能居宅介護：「通い」「訪問」「泊り」のサービスを一つの事業所で一体的に提供します 通所介護（デイサービス）・ショートステイ・訪問介護など：身体介護を含めた支援や家族の介護負担軽減を図ります 認知症対応型共同生活介護（グループホーム：要支援2以上）				
	医療	かかりつけ医・病院（早期発見・早期治療、専門医への紹介、適切な介護サービスの提案、慢性疾患の健康管理など） 専門病院・認知症疾患医療センター（かかりつけ医と連携して、認知症の検査と診断・治療の導入、入院などを行います） 訪問看護・居宅療養管理指導（服薬指導、状態の確認、口のお手入れや相談・治療、家族へのアドバイスなど）				
	地域	いつまでも元気クラブ（生涯現役事業）・おたっしや教室・コミュニティカフェ・老人クラブ・認知症カフェ（ふきのとうカフェ）・チームオレンジなど				
	仕事・役割	シルバー人材センター（経験や知識を活かした活躍ができる場） ・自治会など				
	住まい 生活の場	自宅（福祉用具の活用 住宅改修）				
		ケアハウス・サービス付き高齢者向け住宅：個室・食事付きの住まい			特別養護老人ホーム（入所は原則要介護3以上）・介護老人保健施設	
	相談	認知症対応型共同生活介護（グループホーム：要支援2以上）				
		初期集中支援チーム/地域包括支援センター（竜王町福祉課）：認知症、介護、暮らし、車の運転に関する事等の相談に対応します 認知症カフェ（ふきのとうカフェ）、ケアマネジャー（介護の知識を幅広く持った専門家、介護の相談に応じ、アドバイスやケアプランの作成等を行います）				
生活支援	成年後見制度（竜王町福祉課） 地域福祉権利擁護事業（竜王町社会福祉協議会）：契約の手助けや金銭の管理などの支援をします 民生委員、配食サービス見守り事業、緊急通報システム、外出支援ボランティアスマイル、チョイソコリゅうおう（送迎支援） 認知症あんしんネットワーク、近隣住民、認知症キャラバン・メイト、認知症サポーター：安否確認、見守りなど					

認知症になっても安心 応援隊!! ～住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指しましょう～

【相談窓口】 竜王町福祉課：地域包括支援センター TEL 0748-58-3704 FAX 0748-58-8019

町の取り組み

チームオレンジへの第一歩

認知症になっても
よろしくね

認知症になっても安心応援隊を増やそう!!

チームオレンジとは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組みです。

活動内容

- 困りごとのお手伝い、話し相手、見守り
- メンバーの認知症予防
- 地域でのカフェや集いへのお誘い
- 地域包括支援センターへ相談 など
- 本人も仲間として役割を持つ
- ※ チームによる早期からの継続支援

参加条件

① 認知症サポーター養成講座を受講している人

※ 受講者はオレンジリング又はオレンジリフレクターを持っています。
 ※ 認知症サポーター養成講座を未受講の方は地域包括支援センターへご相談ください。



オレンジリング

② 二人以上のチームを作る

チーム名と代表者名、並びに活動内容を地域包括支援センターへ届ける
 ※ 申し込み用紙は地域包括支援センターにあります。



オレンジリフレクター

③ ステップアップ講座を受講する

※ 地域包括支援センターが指定する講座を受講する
 または、チームが必要とする講座を地域包括支援センターへ相談する

- 公的な応援隊 -

- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症地域支援推進員
- 認知症疾患医療センター
- 成年後見サポートセンター
- 若年性認知症支援コーディネーター



認知症サポーター養成講座について

● 認知症サポーターとは

認知症の人の応援者のことです。何か特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守る役割を持って、自分のできることを行う人です。

受講時間は60分～90分程度、受講後は受講したという証であるオレンジリング又はオレンジリフレクターをお渡しします。地域への『出前講座』も実施していますので受講希望の方は、地域包括支援センター（Tel.58-3704）へお尋ねください。

地域・学校・企業などへ出向きます。



学 び

認知症について学ぼう!!



YouTube（動画）配信しています！（竜王公式：まるごと竜王チャンネル）

認知症に関する教材を作成しました。ご活用ください。（映像時間は各90分程度）

地域向け講座

「認知症の“人の気持ち”」
～思いを理解してかかわる～



地域の方や新規職員さんに伝えることを目的としています。教材は専門用語を使わず、はじめての方にも伝える事ができる内容です。

専門職向け講座

「認知症の“人の気持ち”」
～思いを理解してかかわる～



専門職に伝えることを目的としています。認知機能障害・行動心理症状など専門用語を使いながらOJTとしても活用できる内容です。

予防編

「認知症の予防について」
～脳を元気にしよう～



地域の方等幅広く伝えることを目的としていますので、地域のサロン等も活用いただける内容です。

当事者が語る

認知症の当事者京都府在住、
下坂厚氏が語る「認知症のお話」



「このまち"竜王町"で認知症と共に
笑顔で生きる」

認知症啓発劇
（各10分程度）

「ごはんはまだか」「うちの嫁は泥棒だ」「おうちへ帰ります」



お問い合わせ

専門相談機関等の一覧

施設名	TEL	説明
地域包括支援センター	0748-58-3704	・高齢者本人(一人暮らし等)や家族、地域の方の健康や生活について、日々の心配ごとや悩みごとの相談に応じます。また、介護保険申請を受け付けます。 ・物忘れがあり財産管理がうまくできない、福祉サービスの契約が難しい方等、成年後見制度についての支援をします。
公益社団法人 認知症の人と家族の会 滋賀県支部 「もの忘れ介護相談室」 	0120-294-473 月～金曜日 10:00～15:00	認知症介護経験者等が、認知症や介護について親身になって相談に応じます。
若年性認知症 コールセンター 	0800-100-2707 月～土曜日 10:00～15:00 水曜日 10:00～19:00 (祝日年末年始は除く)	ひとりで悩んでいませんか。若年性認知症のことを知ってください。 同じ方向を向いて一緒に考えましょう。 お気軽にコールセンターまでお電話をください。
警察「安全相談窓口」 運転に不安を感じたら どこに相談すればよいの？	#8080 へ	自動車等の安全な運転に不安を感じる高齢者や障がい者、その家族などを対象とした全国統一の専用相談ダイヤルです。同ダイヤルに電話をすると発信地を管轄する都道府県警察の安全運転相談窓口につながり、警察官や専門職員から運転免許証の自主返納制度や医療機関の受診などについて説明を受けることができます。
滋賀県 消費生活センター 	0749-23-0999 月～金曜日 9:15～16:00 (土日祝日年末年始は除く)	納得できない請求や買い物・契約のトラブル、製品事故や多重債務等消費全般について消費生活における契約や商品などに関する相談に応じます。
竜王町生活安全課 	0748-58-3703 月～木曜日 9:30～16:30 (土日祝日年末年始は除く)	消費生活に関するトラブルや様々な疑問について消費相談員が解決のためのお手伝いをします。
消費者ホットライン	(局番なし) 188(いやや!)	消費生活センターまたは滋賀県消費生活センター、国民生活センターにつながります。
近江八幡警察署	0748-32-0110	本人が外かけて行方不明になった場合はすぐに連絡してください。

認知症介護サービス事業所一覧

	施設名	TEL	住所
認知症対応型通所介護 (デイサービス)	木のおうちいっぶく家	0748-57-1058	竜王町林1346
	デイハウス須恵の郷	0748-58-3513	竜王町須恵48-3
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	希望の家・綾戸	0748-57-0093	竜王町綾戸1041
	わかすぎの丘・七里	0748-58-3428	竜王町七里545-1
	万葉の里	0748-57-2106	竜王町山之上6068

認知症医療機関等の一覧

	施設名	TEL
竜王町内の 認知症サポート医 	弓削メディカルクリニック	0748-57-1141
竜王町内の 認知症相談医 	弓削メディカルクリニック	0748-57-1141
	石塚内科クリニック	0748-58-0025
認知症疾患 医療センター (竜王町近隣のみ記載) 認知症専門医の診断が 必要な時に受診します。 かかりつけ医、地域包括 支援センター、地域の関 係施設と連携をとりなが ら受診します。 	滋賀八幡病院 認知症疾患医療センターおうみ	0748-33-7106 月～金曜日 9:00～16:00 (祝日を除く)
	近江温泉病院 認知症疾患医療センター	0749-46-0010 火～土曜日 9:00～16:00 (祝日を除く)
	水口病院 認知症疾患医療センター	0748-63-5430 月～土曜日 9:00～17:00 (祝日を除く)

支 援

ふきのとうカフェ

認知症の人とその家族・介護者、地域で支える人々…
介護に関わる全ての人の交流と憩いの場所です。

日程	毎月2回(月に1回はミニ講座開催)
場所	竜王町公民館またはあえんぼクリニック 等

※詳細については二次元コードをご覧ください。  年間計画 カフェ紹介動画



認知症初期集中支援チーム

専門職(保健師や看護師、社会福祉士等)が家族の相談等により認知症が疑われる人や認知症の人、その家族を訪問し、本人・家族支援等の初期に必要な支援を集中的に行う自立生活のサポートチームです。

認知症あんしんネットワーク

行方不明になる恐れのある人の安全を確保するため、実際に行方不明になってしまった時などに早期に対応できるよう、警察など関係機関と情報を共有し連携を強化するものです。地域包括支援センターに事前申請し登録が必要です。



認知症チェックテスト

認知症は早めの気づき大切です!

以前はなかったのに、ここ最近思いあたることが3つ以上ある方や、困りごとがある方はかかりつけ医や専門医または、竜王町地域包括支援センター(福祉課)に相談をしましょう。

番号	項目	○	or	×	番号	項目	○	or	×
1	同じことを言ったり聞いたりする。	○		×	8	慣れた所で道に迷った。	○		×
2	物の名前が出てこなくなった。	○		×	9	財布などを盗まれたという。	○		×
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	○		×	10	ささいなことで怒りっぽくなった。	○		×
4	以前はあった関心や興味が失われた。	○		×	11	蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった。	○		×
5	だらしなくなった。	○		×	12	複雑なテレビドラマが理解できない。	○		×
6	日課をしなくなった。	○		×	13	夜中に急に起きだして騒いだ。	○		×
7	時間や場所の感覚が不確かになった。	○		×					

(国立長寿医療研究センターで使われているチェックリストより)

「認知症になっても出来ることはたくさんある、出来ることを奪わないで下さい」

認知症当事者 丹野智文氏より

平成25年度竜王中学校 認知症啓発標語コンクールより



特別賞 オレンジの 腕輪がつなく 地域の輪



最優秀作品 忘れても おばあちゃんは 変わらない

エンディング(修活)ノートを書いていますか?

最期に備えて、自分の思い等を書き留めて家族と共有しておきましょう

※必要な方は下記へご連絡ください。

お問合せ

竜王町地域包括支援センター TEL:0748-58-3704